

再評価結果（平成28年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：川崎 茂信

事業名 一般国道101号 <small>あじがさわ</small> 鱒ヶ沢道路	事業区分	一般国道
起終点 自：青森県つがる市木造越水 <small>きづくりにしみず</small> 至：青森県西津軽郡鱒ヶ沢町大字舞戸町 <small>にしつがる あじがさわまち まいとまち</small>	延長	3.7 km
事業概要 津軽自動車道は、青森県青森市浪岡～青森県西津軽郡鱒ヶ沢町に至る延長約40kmの一般国道の自動車専用道路である。 一般国道101号鱒ヶ沢道路は、津軽自動車道の一部を形成し、つがる市木造越水から西津軽郡鱒ヶ沢町大字舞戸町に至る延長3.7kmの自動車専用道路である。		
H19年度事業化	H1年度都市計画決定 <small>(H1年度変更)</small>	H22年度用地着手
H23年度工事着手		
全体事業費	約87億円	事業進捗率
計画交通量	8,000台/日	供用済延長
費用対効果分析結果	総費用	総便益
B/C <small>(事業全体)</small> 1.3 <small>(残事業)</small> 5.5	<small>(残事業)/ 事業全体 23億円/99億円 事業費：9億円/85億円 維持管理費：14億円/14億円 </small>	<small>(残事業)/ 事業全体 127億円/127億円 走行時間短縮便益：94億円/94億円 走行経費減少便益：18億円/18億円 交通事故減少便益：15億円/15億円 </small>
感度分析の結果 【全体事業】 交通量変動：B/C=1.1～1.5(交通量 ±10%) 事業費変動：B/C=1.3～1.3(事業費 ±10%) 事業期間変動：B/C=1.3～1.3(事業期間±1年)		
【残事業】 B/C=4.7～6.5(交通量 ±10%) B/C=5.3～5.7(事業費 ±10%) B/C=5.5～5.5(事業期間±1年)		
事業の効果等 ③国土・地域ネットワークの構築 ・日常活動圏中心都市（五所川原市）へのアクセス向上が見込まれる（現況：33分） ⑤安全で安心できるくらしの確保 ・三次医療施設（青森県立中央病院）へのアクセス向上が見込まれる。（現況：74分） ⑥災害への備え ・青森県緊急輸送道路ネットワーク計画において、国道101号が「第一次緊急輸送道路」に指定 ・緊急輸送道路が通行止めになった場合に代替路線を形成		
関係する地方公共団体等の意見 ○青森県知事の意見 1. 事業の継続に異存はありません。 2. 本県においても、国が掲げている「希望を生み出す強い経済」、「地方創生」、「国土強靱化」を押し進めるためには、高規格幹線道路網の整備が不可欠であることから、早期整備をお願いします。なお、事業の執行にあたっては、引き続き、より一層のコスト縮減に努めていただきますようお願いいたします。 ○以下の団体等から、鱒ヶ沢道路の整備促進について要望あり ・青森県 ・津軽自動車道建設促進期成同盟会 ・青森県高規格道路建設促進期成会 ・青森県道路整備促進期成同盟会		
事業評価監視委員会の意見 対応方針（原案）どおり「事業継続」が妥当である。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・平成19年度に事業化、用地進捗率88%、事業進捗率59%（平成27年3月末）		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・平成27年度の全線供用を目指すものの、軟弱地盤区間におけるプレロード盛土による沈下遅延により、残工事の工程に影響が生じており、開通時期が遅延する可能性がある。 ・一部で平成28年度以降残工事が		

施設の構造や工法の変更等

・橋梁部の支承形式に「固定可動形式（機能分離型支承）」を採用し、コスト縮減を図っている

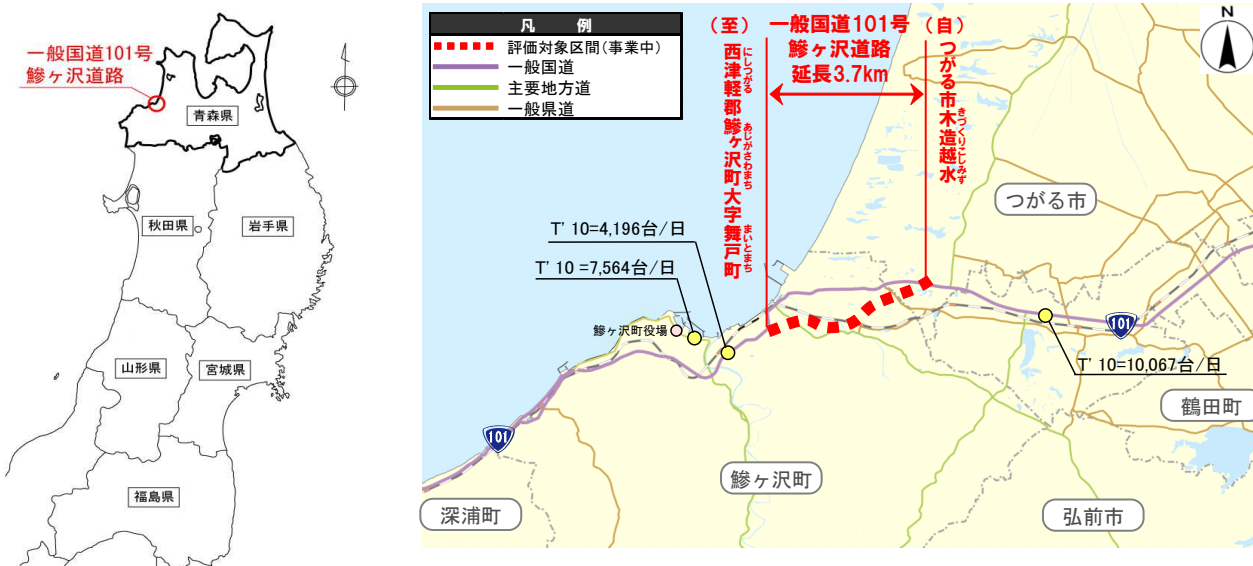
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。